製品取扱説明書

【用 途】 コンクリート仕上げ用・吸水性のある天然石・レンガ用 防水剤

〒171-0014 東京都豊島区池袋2-51-14

HYDROPROOF®
WP-MX

1. 一般名　無機質浸透・防水保護剤
2. 規　格　社内規格
3. 特　徴　ＷＰ－ＭＸは無機質建材全般、天然石、レンガ、漆喰、文化財の表面に塗布すると徐々に浸透して防水効果を発揮する。
ＷＰ－ＭＸは高い弾性を持っており凍害等における表面の劣化を防止し、シラン系と違いシロキサン結合による表面強化機能を持ち凍害、塩害と表面保護を目的としている。 ＷＰ-ＭＸは表面に造膜をして防水効果を出すものとは異なり躯体に浸透して防水するため特に耐久性については顕著な差が出てきます。

4. 一般性状	
項　目	内　容
主成分	変成シリコン＋高分子ポリマー化合物
容 姿	1液性
荷 姿	20kg入り・10kg・2kg入り
色 相	乳濁液
光 沢	乾燥後下地により光沢有り
密 度	1.01～1.02g/ml（20℃）
粘 度	10mPa・s 以下
溶 媒	水
P　H	6.0～6.5
伸び率	250～260%（25℃）

5．塗装基準	
項　目	内　容
洗　浄	新設、補修工事とも塗布面の洗浄を行う。
養　生	施工面以外、飛散の恐れのある所は、基本的に養生をする。特にガラス、アルミ、植栽等に付着しない様、出来る範囲で行う。
塗　布	下地コンクリートは十分乾燥させてから塗布が効果的。一般的な塗布量は 0.12～0.25kg/㎡だが防水目的の場合はこの限りではない。ローラー、ハケ、 噴霧器で平均0.20kg/㎡は塗布する。施工面にグリースや油、塗料の一部などが固着していても機能上問題がなければ塗布可能。
乾　燥	乾燥養生が長い程、強度が増す。

6．施工上の注意

1．必ず良く振ってから使用する。
2．ハイドロプルーフが付着した部分はすぐに濡れたウエス等で拭き取って下さい。
3．熱源や直射日光で施工面が５０℃以上の場合は、たっぷり水をかけて冷やすか日陰部分から塗布して下さい。
4．冬、施工時が常温であっても夜間に０℃若しくはマイナスになる場合は強制乾燥を行って下さい。
5．塗布面のオイル・グリース・離型剤等を取り除く事ができ無い場合はその周辺より浸透させてください。
6．塗布方法は特に選びません。躯体に充分含浸させることが重要です。
7．開封後は速やかに使い切ってください。開封後の残剤は容器中の空気と化学反応を起こすので使い切ってください。短期的保存の場合は水分・ゴミ等が混入しない様にし、小さい容器に移し替え内部の空気を少なくしフタを密封、子供の手の届かない所に保管して下さい。また特に使用残分を元の容器に戻さないで下さい。
8．塗布後の余剰分や残留分は、必ずよく洗った布で拭き取ってください。拭き取りが甘かったり材質によっては白い斑点が出る場合があります。
9．塗布３日以降に散水し、施工面が吸水する場合は塗布量不足ですから、再度塗布して下さい。
10. 万一、目に入った場合は大量の水で洗い、医師に相談するようお願い致します。
11. ０℃以下での保存及び施工は行わないで下さい。
12. 凍結した材料の使用は行わないで下さい。

7. 関連法則	
危険物表示	該当無し
溶剤区分	無機溶剤
有害物質表示	該当無し
劇物表示	該当無し

8. 使用上の注意［警告］
特別危険性はなく施工上の注意を厳守。

9. F☆☆☆☆について

「フォースター」の表示は、塗料や内装材、建材で、「ホルムアルデヒドの放散量の性能区分を示す為に新たに表示する義務が定められたものです。
F☆☆☆☆（Fフォースター）は、JIS工場で生産されるJIS製品に表示することが義務づけられているホルムアルデヒド等級を示すマークです。
ハイドロプルーフは塗料では無く、水性無機化合物の劣化保護及び防水剤です。有害化学物質に指定されたシロアリ駆除剤のクロルピリホス及び、シックハウス症候群に関するホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンの１＋５種類を有害規制薬物に指定。従って有機化合物であるフォルムアルデヒドは含まれていないため F☆☆☆☆に該当しません。

10. VOCについて

VOCとは、Volatile Organic Compounds の略で揮発性有機化合物のことをいいます。WHOでは大気中に気体で存在する有機化合物のうち、沸点が50℃～260℃の物質の総称と定義されています。
上記有機溶剤に関しては非該当です。

修正：2010, 10, 12